

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名		地域ブランド戦略推進事業				担当部	市長公室				
	会計区分		一般会計		事業類型	一般事業		担当課	秘書政策課			
	事業期間		平成24年度		～	平成31年度以降		担当係	市政戦略係			
	総合計画 新基本計画	施策等	5 産業・交流		18 シティプロモーション		1 都市のブランドイメージを構築します					
			重点事業		実施計画事業	○						
	予算区分		款	2	項	1	目	2	大	5	中	2
	根拠法令・個別計画		第6次小牧市総合計画									
	目的	何・誰を対象に	市民									
		どの様な状態にするのか	ブランドコンセプト「夢・チャレンジ 始まりの地 小牧」を普及・浸透させる。									
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか		<p>◆27年度実施内容</p> <p>○市民にブランドを周知するため、ブランドロゴを活用した市役所東庁舎、各市民センタートイレ等へのピクトサインの設置、こまき巡回バスへのラッピングを行った。また、PRポスターを作成し、名鉄小牧線ドア横、市内公共施設、商業施設等への掲出を行った。</p> <p>○市内外にブランドコンセプトや小牧市の充実した子育て環境を周知するためのムービーを作成し、市ホームページで公開した。また、市内映画館でのシネアド上映を行った。</p> <p>○地域ブランド戦略の内容を広く周知するため、窓口、会議、イベントなどでこまきブランドブックを配布した。また、絵本版ブランドブックを市内小学校、市内保育園・幼稚園年長児に配布した。</p> <p>○市のブランド戦略や充実した子育て環境についての理解を促進するため、ブランドWEBサイトを作成、公開した。</p> <p>○副市長・市長公室長・次長級職員からなる地域ブランド戦略推進委員会を開催、地域ブランド戦略アクションプラン策定のための検討を行い、2月に策定・公表した。</p> <p>○地域ブランド戦略に対する職員の理解を深めるため、各課の広報連絡員を地域ブランド推進連絡員に任命し、連絡員会議を開催した。</p> <p>○地域ブランド戦略に対する職員の理解を深めるため、部・次・課長級職員を対象にした地域ブランド研修会を開催した。</p> <p>○JAXA宇宙教育センターと連携してスペースワークショップを推進していくため、JAXA宇宙教育センターから講師を招き、理科教員向け研修を行った。</p> <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <p>※26年度繰越分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド推進支援委託料(17,974千円) ※うち地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)14,000千円 ・ピクトサイン設置委託料(674千円) ※うち地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)330千円 <p>※27年度予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費(26千円) ・消耗品費(345千円) ・印刷製本費(1,993千円)内訳:ブランドブック <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費(2,300千円) ・広告料(2,931千円) ・地域ブランド推進支援委託料(5,300千円) ・ピクトサイン作成設置委託料(700千円) 									
受益者負担		無										

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	費用	直接経費		千円	5,457	10,816	21,012
正職員		従事者数	人	0.47	0.40	1.00	1.00
		人件費	千円	2,585	2,200	5,501	5,501
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	8,042	13,016	26,513	16,732	
対前年比		%		161.8	203.6	63.1	
財源	一般財源		千円	8,042	13,016	12,183	16,732
	国・県支出金		千円	0	0	14,330	0
	その他財源		千円	0	0	0	0

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	地域ブランド戦略推進委員会開催回数	回	目標		-	4	2
実績				-	3	4	
ブランドブック配布数	冊	目標		-	-	8,000	8,000
		実績		-	-	6,612	
績	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
			小牧市のブランドロゴマークおよびキャッチフレーズを知っている市民の割合	%	目標		-
			実績		-	38.0	41.6
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	公共施設へのピクトサインの設置、巡回バスへのラッピング、PRポスターの掲出、PRムービーの公開、ブランドWEBサイトの公開、ブランドブックの配布など各種啓発活動を実施し、市内外に広くブランド戦略の取組みや市の充実した子育て環境、ブランドコンセプトの周知などを図ったほか、職員の理解を深めるための研修会を実施した。また、地域ブランド戦略推進委員会を開催し、今後具体的に事業を推進していくための施策を地域ブランド戦略アクションプランとして策定した。				
		事業実施における課題	ブランドコンセプトの普及・浸透により効果的な情報発信ツールを活用していくとともに、各課においても積極的に発信をしていく必要がある。また、民間企業等とも連携し、一体となって事業を進めていけるよう、外部にも積極的に働きかけを行っていく必要がある。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	民間企業等とも連携して、様々な媒体を活用したブランドロゴやコンセプトのPRをすることにより、本市が持つ地域資産や目指すまちの姿を多くの人に知ってもらい、市のイメージの醸成につなげることができていると考える。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	市民へのブランド周知の取組みとして新たに公用車へのロゴマークのカーマーキングを行う。また、地域ブランド戦略アクションプラン(H28~H30)に基づき事業を実施していくとともに、内容を充実し、より効果的な取組みを位置づけていく。				
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの			
	判定理由	「小牧市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき人口減少の克服や地方創生に取り組む中で、ブランド戦略は市民の市に対する愛着や誇りを醸成し、継続居住意向の上昇につながると考えられるため。					
	29年度以降の改善案	ブランドロゴマークおよびキャッチフレーズの認知度の現状把握を行いながら、より効果的な取組み内容を随時検討していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	市民へのブランドコンセプトの普及・浸透度について、年代・性別等の属性を分析したうえで、より効果的なブランド周知に努めること。